



1973

計測技術研究所

35年の歩み

Corporate History

株式会社 計測技術研究所

〒224-0037 横浜市都筑区茅ヶ崎南 2-12-2
TEL:045-948-0211 FAX:045-948-0221

KEISOKU GIKEN Co., Ltd.

2-12-2, Chigasaki-minami, Tsuzuki-ku,
Yokohama-city 224-0037, Japan

TEL:045-948-0211 FAX:045-948-0221

Web-site <http://www.keisoku.co.jp/>

2008

1973

計測技術研究所を資本金**200万円**にて創立
デジタルQメータ開発



3人のメンバーで民家を
借りてスタートしました



デジタルQメータ



玄関には手作りの
会社看板があります

1974

空間フィルターを応用した
非接触デジタル速度計を開発



非接触デジタル速度計



速度検出部

1975

コアレスモータ検査装置開発
資本金を**500万円**に増資



コアレスモータ検査装置

1976

8080系マイコンを使用した種々の検
査器を開発

1977

事業拡張のため、本社・工場を横浜
市港北区綱島に移転
画像処理装置の開発開始

1978

家庭用VTRシリンダー生産ラインの自
動検査設備開発
資本金を**1000万円**に増資



VTRシリンダー検査装置

1979

超LSI技術研究組合に温度分布測
定システムを納入



温度分布測定システム

1980

K-230電源自動検査装置開発
この開発が現在のパワーウェア部門の
スタートとなった
資本金を**1500万円**に増資



K-230 電源自動検査装置

1981

標準製品生産用に大倉山工場新設
電源テスターPTシリーズ開発、見込
み生産開始

1982

電源テスターPTシリーズ用自動検査ソフトウェア開発
資本金を**4000万円**に増資



PTシリーズ電源自動検査システム

1983

創立10周年記念パーティー開催
家庭用VTR生産ライン向け自動調整
装置開発



武蔵小杉のホテルザエルシィ
にて開催されました

1985

FT-8000デジタルファンクションテス
ター開発



FT-8000 デジタルファンクションテスター

1986

電源検査システムを第1回スイッチン
グ電源システム展へ出品
資本金を**6000万円**に増資

1987

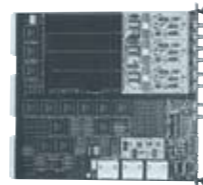
業務拡張のため横浜市港北区新横
浜に営業本部設置
AJ-5500自動調整器開発
電源テスターPTシリーズを一新

1988

ファンクションテスト技術導入で米サ
メーション社と提携
画像処理技術導入で米VITec社、西
独ELTEC社と提携
PTS-500電源自動高速検査シス
テム開発

1989

業務拡張のため本社を横浜市港北
区大倉山に移転
ワークステーション用ハイビジョンフ
レームクラバCFMを開発し、日本シ
ステムハウス協会より優良品褒賞を受
賞する
この製品の開発が現在のビジュアル
ウェア部門のスタートとなる



ワークステーション用
ハイビジョンフレームクラバCFM

1990

次世代ATE機器開発のためVXIbus
の研究に着手
資本金を**7000万円**に増資

1991

PTS-7000電源自動評価シス
テム開発



PTS-7000 電源自動評価システム

1992

PAC-1200ポータブルオートテストコン
トローラ開発
MP-701マルチファンクションパワ
ーメータ開発



PAC-1200
ポータブルオートテストコントローラ

1993

ワークステーション用大容量動画メ
モリDFM開発
創立20周年記念パーティーを香港で
開催



ワークステーション用大容量動画メモリDFM

1994

ワークステーション用ハイビジョンフ
レームクラバCFM-dash及び
VTRコントローラボードVTRC(SBus)
開発



ハイビジョンフレームクラバ CFM-dash

1995

3世代目のRM-102リップルノイズメ
ータ開発
PW-6000電源自動検査・評価シス
テムをWindowsソフトと共に開発



RM-102 リップルノイズメータ

1997

ファイバチャネル技術導入のため米
国SWS社と提携し Fibre Channel
Disk Array System [Nextorage]開発



Fibre Channel
Disk Array System
"Nextorage"

1998

3世代目の電子負荷EL-302開発
パソコンのUSBをGP-IBに変換する
UV-10開発



EL-302 電子負荷

1999

事業拡張のため新社屋の建設を行い
本社、綱島事業所、営業本部を統合、
横浜市都筑区に移転



2000

「ISO9001」取得
次世代動画ハードディスクメモリUDR
開発

2001

台湾Prodigit Electronics社と資本
提携

2002

コストパフォーマンスに優れたHD/SD
専用ディスクレコーダUDR-2E開発



ディスクレコーダ UDR-2E

2003

創立30周年を迎える
2KVA交流・直流電源 (PA-2003)
OV入力電子負荷装置 (ELZ-303)
低電圧動作電子負荷装置
(ELL-303)開発



PA-2003 交流・直流電源

2004

高速応答 (200A/μS) の電子負荷
(ELS-304)開発
資本金を**9500万円**に増資



ELS-304 高速電子負荷

2005

高速電源自動検査システム(PW-600E)
多機能電子負荷ELシリーズ開発
4Kデジタルシネマ対応ディスクレコーダ (UDR-10E)開発



PW-600E 高速電源自動検査システム

2006

スーパーハイビジョン対応ディスクレコーダUDR-20S開発
フィールド用非圧縮ディスクレコーダUDR-5S開発
500A/μs超高速電子負荷装置 (ELS-154)開発



スーパーハイビジョン対応ディスクレコーダ UDR-20S

2007

電子負荷シリーズを一新し、ブースター機能を搭載した多機能低電圧動作電子負荷
シリーズを開発 フラットパネルディスプレイ開発用半導体メモリレコーダ(XD)開発
世界最速スルーレート(1000A/μS)の汎用電子負荷 (ELS-105)開発
ラスベガスで開かれたNAB2007展示会に自社ブースで初出展
上海SOHO事務所及び深圳SOHO事務所開設



ELS-105 超高速電子負荷



NAB2007展示会

2008

創立35周年を迎える